

新入生父母・保護者の皆様へ

法政大学後援会

会長 佐々木 英世

このたびは、ご入学おめでとうございます。

後援会は、法政大学の学部にて在学する全ての学生のご父母・保護者によって組織され、ご子息・ご息女の入学と同時に、皆様に入会していただいております。主な事業は、大学の教育事業や学生の大学生生活・課外活動等を物心両面で支援することであり、支援内容は、奨学奨励金の付与、図書・備品の寄贈、各種講座や体育会活動への助成等多岐にわたります。また、首都圏を始め、全国の支部において、父母懇談会などを大学の共同事業として開催し、皆様に大学や学生生活に関する情報提供、大学教職員と保護者の懇談、保護者同士の交流を設けています。

後援会は、戦後間もない1947年、荒廃した教育環境を立て直すため、学生の父母が自ら立ち上げた他大学では余り例を見ない歴史ある組織です。「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」(会則)という目的を達成するために、会員と会員から選出されたボランティア役員により自主的な運営を行っています。現在では、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)と全国に33支部を組織し、会員数は約3万人の大きな組織となっており、来年2027年には創立80周年という大きな節目の年を迎えます。

活動の詳細につきましては、今後皆様のお手元にお届けする広報誌「HOSEI」(年6回発行)や「会員のためのガイドブック」、後援会ホームページによってお知らせしてまいります。また、全国で開催する「新入生父母の集い」(支部によって開催有無が異なります)、「総会・父母懇談会」などに参加いただくことによって、大学や後援会活動をより深く理解いただけることと存じます。

後援会は『子どもの母校は我が母校』を合言葉に、学生と大学を応援してまいります。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2026年2月